



平成21年度「さわやか詩集」ができました。

平成21年度の「さわやか詩集」には、小中学校あわせて1,456編の応募があり、昨年10月1日の審査会（菅野昌和審査委員長）で入賞作品90編が選ばれました。
 今回は「大滝清雄賞」と「さわやか大賞」に輝いた受賞作品を紹介します。ぜひご一読ください。
 なお、詩集は町図書館の「さわやか詩集」コーナーにあります。こちらもどうぞ、ご覧ください。

「さわやか詩集」について

この「さわやか詩集」は、平成元年の町図書館開館当時から当町出身の詩人（故）大滝清雄さんの功績をたたえとともに、図書館の「大滝清雄文庫」の開庫を記念して毎年詩を募集し、優秀作品の表彰と詩集の発行を行っているものです。

平成21年度さわやか詩集入賞者 (敬称略)

題名	学校・学年	氏名
●大滝清雄賞		
ひまわりと太陽	三神小5年	小林 千夏
ひぐらし	矢吹中2年	理崎 有香
●さわやか大賞		
盆どの、盆どの、私の誕生日	中畑小4年	柏村 美帆
盆どの、盆どの、私の誕生日	矢吹中3年	安田 知加
●さわやか賞		
パパ	中畑小1年	吉田 悠人
まほうつかいだったら	矢吹小2年	伊藤 愛奏
におい	善郷小3年	湯田 音々羽
木	善郷小4年	小林 怜那
野菜作り	中畑小5年	松川 理沙
光の朝	矢吹小6年	影山 沙絵
国語辞典	矢吹中1年	吉田 圭介
努力	矢吹中2年	丹内 美裕
水色	矢吹中3年	伊藤 可茄子

町教育委員会主催の「平成21年度さわやか詩集表彰式」が1月17日、町文化センター大ホールで開催され、入賞者への表彰と入賞作品の朗読発表が行われました。
 表彰式では、受賞者に賞状と記念品が贈られ、入賞がたたえられた後、菅野昌和審査委員長から選評があり、各作品が紹介されました。その後入賞者自らによる作品の朗読発表が行われました。
 また引き続き開催された「ポエムコンサート」では、井上景子さん、麻緒さん親子による「ハンガリー舞曲集No.5」、「日本の四季より」、「ディズニー・スローパー・メドレー」などのピアノ演奏が行われ、表彰式に華を添えました。

大滝清雄賞

「ひまわりと太陽」



小林 千夏さん (三神小5年)

夏に咲く黄色い花
 ひまわり
 暑い中
 ずっと青い空を見上げ

太陽にはほえんでいる
 太陽が雲にかくれた時に
 ひまわりは赤ちゃんみたいに
 泣きそうになる
 そんな時太陽は
 「大じょうぶだよ」
 とひまわりに
 温かい笑顔で言うと
 ひまわりはまた太陽に
 すぐきな笑顔を
 送ることが出来る
 ひまわりって
 太陽のことが
 大好きなんだね

さわやか大賞

「盆どの、盆どの、私の誕生日」



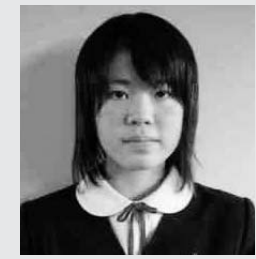
柏村 美帆さん (中畑小4年)

むかえ火の日
 「盆どの、盆どの、この明かり
 にござれよ。」
 歌いながら、とらばあちゃんを
 思いだす

とてもやさしいばあちゃんだった
 るすばんの時も、
 ばあちゃんがいたからさびしくな
 った
 ばあちゃんの好きな絵本を二人で読
 んだ
 ようち園の時、ばあちゃんが死んだ
 悲しかった
 いっぱい泣いた
 「泣かなくてもいいよ。
 ばあちゃんは、天国で見てるか
 らね。」
 十六日のおくり火の日
 「盆どの、盆どの、秋のひがんにま
 たござれ。」
 とらばあちゃん、また来てね

大滝清雄賞

「かぐや」



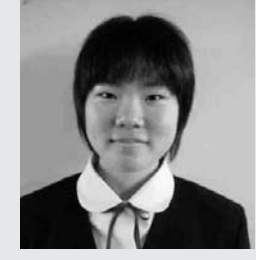
理崎 有香さん (矢吹中2年)

まだ終わらないで
 私の夏
 秋になったら、もう鳴けないから
 カナカナカナ

ずっと土の中にいて
 やっと出てきた外の世界
 もっとここにいたいから
 カナカナカナ
 やっと見つけた大っきな太陽
 夕暮れ時山の向こうに沈んでく
 まだ沈まないでほしいから
 カナカナカナ
 夕立時に降る雨も
 水遊びする子供の声も
 スイカを食べる家族の姿も
 みんな大好きだから
 カナカナカナ…
 まだ終わらないで
 私の夏

さわやか大賞

「私の誕生日」



安田 知加さん (矢吹中3年)

私の誕生日は八月六日です
 たくさんの命が失われたのと同
 じ日に
 私は生まれました

たくさんの涙が流されたのと同じ
 日に
 私は生まれました
 その日の犠牲者や、その遺族が大
 きな悲しみを抱いている今、
 私は生きています
 悩みや、つらい事もたくさんある
 けれど
 それでも私は生きています